

東京消防庁が撮影した、壁やガラスが破損した御嶽山山頂付近の山荘の様子＝2014年9月（同庁提供）



火山防災の教訓にして

信濃毎日新聞社が検証本

信濃毎日新聞社は御嶽山噴火から27日で1年を迎えるのに合わせ、犠牲者数で戦後最悪となった噴火災害を検証し、火山防災への教訓を導き出す連載記事を中心にまとめた「検証 御嶽山噴火 火山と生きる」9・27から何を学ぶか」を出版した。

連載は今年1月から6月まで68回にわたって掲載された。火山研究者や遺族らによるシンポジウム記録、被災関係者対象の全国初のアンケートなどを収録。定価1620円。問い合わせは信毎出版部

026・236・3377

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

御嶽山噴火あす1年

噴石 時速100キロ超で衝突

山梨県研究所試算 登山者、回避は困難

58人が死亡、5人が行方不明となった御嶽山（長野、岐阜県）の噴火で、噴石が地面に衝突した際の速度は最低でも時速108キロに上るとの試算が出たことが25日、山梨県富士山科学研究所への取材で分かった。戦後最悪の犠牲者を出した噴火は27日で発生から1年。登山者が噴石から逃れる難しさが、あらためて浮き彫りになった。噴火犠牲者のうち56 員（火山物理学は「解る。人が、噴石が体に当たったことなどによる「損傷死」だった。同研究所の常松佳恵研究

する状況をシミュレーションした。その結果、火口から噴石が出た速度（初速）は時速360～540キロと推定。地形や空気抵抗を加味して解析すると、大半が落下時には初速の7割ほどまで減速したことが分かった。一方、地面に衝突した位置に

よっては、最大初速540キロのままだった噴石もわずかにあると考えられるという。また噴石の分布から、火口周辺には直径10センチ以上の噴石が53万个ほど降ったとも推定した。噴石の個数は、東大地震研究所の空撮写真による調査を基に推計した。

④ 記事を読んだ感想を書きましよう。

[Dashed box for writing an impression of the article]

① 噴火で亡くなられた方の大多数は、何が原因でしたか？

② 常松研究員らのグループの試算によると、火口から噴石が出た速度（初速）は、時速何キロと推定されていますか？

時速

キロ

③ 火口周辺には、直径10センチ以上の噴石が何個ほど降ったと推定されていますか？

名前